



No. 25

東京ブランチ94年度会員登録更新について

94年度の東京ブランチ会員登録更新の季節となりました。ご友人お誘いのうえ、登録を更新されますようお願い申し上げます。

1. 締切日 4月30日（消印有効）

振替口座番号 東京6-64023

5月6日から「00160- -64023」となり、用紙もかわりますので、上記締切日までのお申し込みをお願いします。

加入者名 RSCDS東京ブランチ

2. 同封の郵便振替用紙（申込用紙）を使って、個人で、またはご家族で申し込んでください。やむをえずまとめて申し込まれる場合でも、全項目記入した申込用紙でお送りください（今回リスト形式は不可）。記入例は別紙をごらんください。必要項目が記入されていれば、郵便局そなえつけの振替用紙で差支えありません。

3. 会費額 つぎのいずれかひとつの金額です。

年次会員	2,400円
新規長期（10年）会員	15,000円
既・長期／終身会員	1,000円

会費内訳は：

会員区分	ブランチ会費	本部会費	計
年次会員	¥1,000	¥1,400	¥2,400
新規長期（10年）会員	¥1,000	¥14,000	¥15,000
既・長期／終身会員	¥1,000	払込完	¥1,000

昨年マニュアル代金で¥1,800を支払われ、事務局の手続き遅れで過剰代金¥300の返還を受けていないかたは、この機会に上記金額から¥300を減額した会費額でご送金ください。

4. 既・長期会員であって、ことしから東京ブランチ会員への登録を希望される場合、混乱を避けるために移籍について旧登録団体責任者の同意を得、「移籍申込書」をブランチ事務局に提出していただくことになります。

（次ページに続く）

5. ことしはブランチ全会員に Book 38をお送りします。希望Book Number の記入は不要です。一家に2冊もいないかたは、別のBookをお書きください。

6. 昨年と同じく、締切日までにお申し込みがない、あるいは申込書に不備があっても、事務局からとくにお問い合わせいたしません。事務局および郵便局のミスなど、申込者に手落ちがない場合を除き、途中追加登録はご容赦ください。

RSCDS本部は5月末日までに会員数を報告するよう求めており、この報告数にもとづいてブック、ブリティンを送ってきます。これ以降に人数がふえた場合、増加分のブックおよびブリティンが不足することがしばしばです。また、ほとんどのかたは締切日までにお申し込みをすませています。

7. 既・長期会員で、SCDへの情熱、関心がうすれ、登録更新(ブランチ会費払込み)を手続きしないかた、半年おくれで会費送金されるかたがいらっしゃいます。RSCDS本部手持ちの長期会員名簿から削除するよう手続きをとりますので、『やめます』とお知らせいただければ幸いです。

以上、事務局独断の感をいだかれると存じますが、近隣在住の50人・60人ならばともかく、会員数は330をこえています。事務局にも稼ぎと暮らしがあるわけでした、会員みなさんのご協力をお願いいたします。

長期(10年)会員になるということは

1. 事務手続き簡素化のため、期間10年の長期会員制度があります。長期会員はRSCDS本部の長期会員名簿に登録され、RSCDS本部は10年間、その会員に権利付与、ことに毎年ブックおよびブリティンを長期会員に送る責任を負います。この発送を代行するのが、各支部つまりブランチの役割のひとつです。
2. この期間中、長期会員が別のブランチに移籍した場合でも、本部は責任を負っていますから、新旧の所属ブランチにたいし会員の移動状態をきちんと報告するよう、規約上で求めています。東京ブランチからシカゴ・ブランチに移ったとしても、その会員の権利が損なわれることはありません。
3. いいかえれば、長期会員には10年間それら出版物をうけとる権利が生じます。SCDへの情熱が冷め、『もういいよ』となっても、本部からは毎年ブランチに出版物がおくられてきますので、さらに『権利を放棄します(東京ブランチ会員の登録をしません)』と述べていただかないと、ブランチ、ことに事務局は困ってしまうのです。
4. このようなわけで、長期会員を希望されるときは10年後の状況を予想され、『そのときもじぶんのSCDへの情熱は失われていないだろう』という答えを得てお申し込みください。しかしながら、こころのうつろいは人の世の常、そのようなときには、遠慮なく『やめます』とおっしゃってください。

グループ名簿のデータ見直しのお願

グループ連絡先のかたに、昨年と同様に返信切手つきで記入用紙をお送りしました。所定事項ご記入のうえ、事務局までご返送ください。グループ・データに変更がなければ、『前年からの変更なし』で結構です。お知り合いのグループで、ブランチ年会報にのせたいグループがあれば、記入用紙をコピーされ、おなじように事務局にお送りください。（今回“こんなダンスを踊っています”のアンケートはありません）

これも締切りは4月30日（消印有効）です。

東京ブランチ年次総会とAGMボール案内

年次総会とAGMボールの日取りがつぎのようにまりました。（詳細：別紙）

日時： 1994年5月22日（日） 10am - 4:30pm

時間	10am - 12am	1:30pm - 4:30pm
場所	渋谷区幡ヶ谷社会教育会館	渋谷区スポーツセンター
内容	年次総会	AGMボール

ブランチ会費の見直し

郵便料金の改正にともない、年間の1人あたり諸費用を見直したところ、印刷物配布だけでつぎのように予想する以上の出費であることがわかりました。

印刷費	870円	（レター4回、年会報1回、総会案内）
封筒代	40円	（ブック、ブリティン含む）
郵送料	890円	（90円、80円、3 x 240円）
計	1,800円	

今年度はブランチ会費据え置きでやりくりしますが、このままの状態ではよいといえません。ブランチ会費改定（実施：1995年度）を上記総会に提案いたします。

[速報] 今年のサマースクールでの受験を目指し、岡田昌子さんをトレーニング・ティーチャー役に勉強を続けていた16名（ブランチ・メンバー15）を対象とするプリリミナリー・テストを、「オーストラリアの試験に絡めて、今夏日本で実施しても良い。その場合、ブランチの正式同意が望ましい」との、ソサエティ資格試験委員長（Mr Aitkenhead）の意向が1月19日伝えられたため、2月2日に、緊急ブランチ委員会を開催し討議の結果、「ブランチは実施に同意」と本部に通知しました。

（実施確定以前ではありますが、話題を呼んでいるので、敢えて速報します）

受験希望者は他にもいます。委員会の際には、「他の希望者のトレーニングを行い、今夏2回の試験ができないか？」等の案が検討されましたが、残念ながら主として時間的に無理です。次のチャンスを今後の重要課題としつつ、まずは、

16名の健闘と、教師候補者大量誕生を期待したいと思います。Very Good LUCK!

（チェアマン）

ブランチ10周年記念行事・続報

9月実施にむけて着々と準備がすすめられています。

- 指導者招請（主管：松橋順子） 昨年8月に口頭で都合をきき、来日可能な回答を得ているが、ビル・アイアランド氏とジェニファー・ウィルソン氏に正式招請状を発送する。
- 特別クラス（主管：佐藤仁美） 9月23日～24日、埼玉県川越市の『むさしの』において開催予定。
- 関東以外での行事（主管：小川義忠） 仙台・能代・岐阜・福岡・長岡を候補地として検討中。
- 記念ボール（主管：岡田昌子） 9月25日、東京晴海の客船ターミナルホールにおいて開催予定。
- 新ダンス・新曲募集（主管：小幡正明） いまだ応募はないが、3～4月にかけて提出予定との感触を複数の会員から得ている。
- マーク（ロゴ）募集（主管：田村妙子） ブランチ事務局が本部に問い合わせたところ、正式なブランチ・ロゴはRSCDS王冠マークの下に"Tokyo Branch"をいれたものしか認められない、とのこと。ただし、10周年記念にのみ使うのであれば制限はないので、みなさんからの応募をお待ちしている。
- 10年の歩み（記録）作成（主管：池間博之） 本部や海外ブランチからのメッセージ、ブランチ設立時の経過、会員からの10年～新会員までの年ごとの東京ブランチ観などで構成を計画中。
(Tom)

Group Notice Board

- 4/24(日) 10-16:00 葛飾SDC・8周年パーティ・エイトホール・¥1,000
尾身信晴・03-3697-5838
- 4/29(祭) 11-15:00 SCDGボビズ・スプリングボール・与野市コミュニティセンター・¥1,000・風間英子・048-833-6151
- 4/29(祭) 14-21:00 関西WHD・6th Spring Party・神戸外国倶楽部・¥7,000
(1泊2食¥14,000) 太田快人・0798-54-5981・締切 4/8まで
- 6/19(日) 13:30-17:00 SCDGアイリス・アイリススコティッシュ・ボール・坂戸市勝呂公民館・¥700・渡辺清一・0492-81-6427
- 7/23(土) - 7/24(日)16:00 岐阜SCDC・サマーボール・サンピア岐阜・有田典和・0582-62-1656

第7回東京ランチ合宿報告

94年2月25日から27日、上尾市の埼玉県スポーツ研修センターにおいて第7回東京ランチ合宿が開催されました。今回、いつもの指導者クラスによる研修もさることながら、フレッシュなメンバーによる変化に富んだ研修を、という趣旨で行なわれました。

参加者総数	93名
ケガ	なし
わすれもの	ジャケット1着

昨年ランチであっせんしたBook 16 テープとレスター・ランチ15周年記念テープを踊っていただくとうと、各ダンス・ブックから6つずつの踊りをえらび、春まだ浅いなかで熱のこもった指導が行なわれました。また、会場手配、当日のこまごましたことから、宿泊定員を上回ったためにまいにち通いで参加いただいたことなど、上尾SCDGの会員みなさんにはほんとうにお世話になりました。お礼申し上げます。

ダンス内容と講師名：

Just a Dance	J32	Leicester	掛川純子
Miss Sybil Shaw	S32	〃	〃
Young Wilson's Reel	R32	〃	荒井千文
Caledonian Rant	S32	Book 16	〃
Todlen Hame	J32	〃	林 浩子
Lord Hume's Reel	S40	〃	有田典和
Golden Pheasant	J40	〃	川分康博
Struan Robertson's Reel	R40	〃	大野悦子
Sparkenhoe Circle	R64	Leicester	クレメント 篤子
Lady Harriet Hope's Reel	R32	Book 16	〃
Joe Foster's Jig	J32	Leicester	近藤幸子
Dick's Dram	S32	〃	稲垣 俊
ピアニスト		小海弘子	
〃		服部雅好	
パーティMC		佐藤仁美	
〃		小幡正明	
〃		五十嵐成子	

参加者の感想はつぎのとおりです。

<たんぼの中の人、上尾へ行く>

原 幹信

"Ready, and !"で音が出てくるのがよかったヨー。モチロン、ティーチャーも最高。アングラーダンサーとして?年踊っていて、はじめて研修会に参加しました。岐阜S

CDCに所属しています。昨年暮れに、有田さんから「2月に東京で研修会があるので参加してみたら」との誘いを受け、一大決心して参加を申し込みました。

上尾スポーツ研修センターに17時ごろ到着し、手続きを済ませた後、「パーティの始まり、始まり」知っている踊り(?)、知らない踊りetc, etc。イヤーぜんぜん知らない人と踊る楽しさといったら、まず緊張する！プレッシャーを感じる。(自分で勝手に思っているだけか?) そのなかでも、自分がすこしでも覚えている曲になると楽しいですね。おもしろく感じるから不思議です。

パーティもおわり、風呂に入り寝るか……しかし、有田夫妻と松原智恵子さんがまだ到着していない！一抹の不安(ウツリ)。そしておじ有田夫妻が到着し、稲垣俊さんにどこの部屋に入れるべきか聞きにいったら、お酒やってるではないの。一緒に飲んじゃった。アリガトサン！

26日、クラスA、Bに分かれて研修の始まりとなる。クラスB会場の剣道場はその寒いことといったら、ウーと思わずうなってしまった。ティーチャーは荒井千文さん、ピアニスト服部雅好さんで行なわれたが、「Ready, and !」で音が出てくるのが(なんともいうけれど)よかったです。ついで「休憩」、田村妙子さんをはじめ、お世話してくださったかた、ありがとうございます。その後5名のかたの研修を受け、さあ飲むゾー(ほんとうは飲めないのだ)、ビールを買いに……

この時間が大事(?) 都会の人も、田舎の人もうちとけて、楽しく過ごすことができました。個人的に話しをしてくださった方々、ありがとうございます。

27日、起きたら、足が足がと思っただけでそんなに痛くなくてよかった。剣道場の朝は寒い！みんなでリラックス体操後、研修のスタート!!クレメント篤子さんの迫力と、ステップのきれいな方には感動しました。

いままで岐阜で有田典和さんから指導を受け、いつも有田さんが言っていることと、この研修会で各ティーチャーが言われることは、まったく同じでした。やはり、基本ステップの大切さを痛感しました。

お別れパーティではバテバテになり、あたまの中は真っ白。どなたとなにを踊ったのか定かではありません。研修会に参加して、研修よりもみなさんとのコミュニケーションばかり印象に残ってしまいました。最後まで楽しく踊れたこと、楽しい時間とともに過ごせたことに感謝しております。
(岐阜SCDC)

<楽しかった合宿>

三隅 公恵

佐藤仁美さんのあたたかな笑顔でひらかれたオープニング・ボール。私の前にいたご婦人に問いかけると、にこやかに「私は小さいから女性をするわ」とさりげなくいわれ、セットがなごやかな雰囲気になりました。つたない男性役の私は、魔法にかけられたように、軽やかに踊ることができました。楽しかったボールもおわり、余韻と興奮で眠れぬ一夜を明かしました。

翌26日からはいよいよ研修に入ります。はじめての合宿です。緊張と胸のたかなりを押さえることができません。

9人の講師のすばらしい指導にくだるるように耳をかたむけ、柔軟なスタイルや目新しいフィギュアのつなぎなど、いままでマスターできなかったいろいろなことが次々とわかり、うれしくて楽しくて時間の経つのが惜しいくらいでした。

あるクラスでびっくり。オープニング・ボールでパートナーであった、あの小柄でダイナミックなかが、講師だったのです。

最後の指導に入り、クレメント篤子さんのなめらかな美しい身のこなし、フォーメーションも簡潔に説明され、感嘆しました。また、篤子さんとご主人とでつくられた伝統的なケーキを、スコットランドからはるばる会場までもってきていただいたのです。まろやかでおいしかったです！

今回の合宿でとくにこころに残ったことは、どの講師もからだからあふれる豊かな表情と笑顔、洗練したことばづかいや声のトーンなどです。学ぶことの多かった三日間でした。すばらしい講師や先輩にサポートされて踊ることができ、そのしあわせはいつまでもこころの財産になるでしょう。

埼玉での合宿を終えて福岡に帰り、この貴重な体験を生かして地元でスコティッシュ・ダンスのすばらしさをどのように伝え、広めていくか、そしてダンスを愛し、喜びをわかりあえる仲間づくりにどう取り組むか、今後の大きな課題です。

私の将来の大きな夢ですが、スコットランドの地でスコティッシュ・ダンスを軽やかに踊ることができる日を胸に、練習に励んでいきたいと思っています。

(門司SCDC)

<耳に残るは "Ready, and !" >

北村 重臣

3年ぶりの合宿参加、その間は仕事、子供会、町内の世話等で県外にはほとんど出かけることがありませんでした。私にとって久々の活動でもあり、愛好者の皆さんにもお会いできるのが楽しみでした。顔見知りの人からは「元気でやってたの？」ときかれ、「まあ、ぼちぼちやってみました」と苦笑したしだいです。

今回の研修は全体にプリリミナリーが色濃く出されておりました。それもそのはず、講師はプリリミナリーをパスするために苦勞し、修得したその指導方法を、あますところなく発揮していました。

各基礎ステップのポイント説明、8小節以上のステップ練習はあまり行なわない、隊型をくふうしての基本動作のマスター、全員が楽しめるように配慮するなど、大変緊張して指導している姿には、一種の同情感をもちました。いちばん耳に残っているのは "Ready, and !" の声です。タイミングと声の大きさはさまざまですが、始めから終わりまで "Ready, and !" ばかりが脳裏にやきついています。

私はふだんダンサーとして踊っているときは、あまり疑問に思わないようにして、

楽しみながら自分のものにするのをこころがけています。しかしグループ等でメンバーに伝達する時には、細かい点で不明なところ、疑問が生じ、説明にこまるが多々あります。いちばんこまるのは、ビデオで見たスコットランドの人たちが踊る雰囲気、グループでは出せないことです。からだのつくりは同じと思いますが、ちょっとしたニュアンスの違い、たとえば姿勢、手、足のつかいかた、関節のうごき、フレーズのとりかた、そしてもっとも大事なのはこころ（スピリット）であると思うのです。機会あるごとに、そのどれかひとつでもよりスコットランド風に踊れるようにするにはどうするかを見つけだし、マスターするのが私の目的なのです。

今回も講師の皆さんのおかげで、いくつかを得ることができました。とくにクレメント篤子さんの指導のながれ、ドキッとするほど熱の入った第1ポジションから第3ポジション、第4ポジションの説明とSkip change of stepの第1歩の関連、我々が冒しやすい横移動を、Reel of three, Reel of fourの説明で指摘されました。日本人が間違えやすい箇所、日本式に踊りがちなところを強く表現してくれました。踊りのながれの中で、足の踏み換えはさりげなく行なうのが自然である、との説明には感心しました。私はこのようなステップを「マジック・ステップ」または「トリック・ステップ」と呼びたくなります。

お世話いただいたスタッフの皆さん、ありがとうございます。また機会があれば出かけたかと思っております。
(金沢SCDC)

<東京ランチの合宿に参加して>

笹川 知意子

2月25日朝、やりのこした仕事をかたづけ、荷物をかかえて昼すぎの新幹線にのりこみました。合宿参加は二度目ですが、上尾は今回がはじめてです。期待に胸を躍らせながら、大宮駅で時間待ちに飲んだカウンターのコーヒーのおいしかったこと！上尾には4時半ごろ到着しました。さあ、ランチ合宿です。

夕食後Informal Danceがはじまり、女性のドレスや男性のキルト姿を見ると、Scottish Country Danceを躍るんだ、という自覚がうまれるから不思議です。知らない踊りが多く、『語り』だけで即動けるまでいかないわたしは、1st coupleの動きを見せてもらってからパートナーのサポートでとても楽しく踊らせていただきました。

2日目、いよいよ講習です。身の引き締まるおもいで練習場に集合しました。ピアノの演奏で指導がはじまり、まず基礎ステップの練習です。なんどもステップを踏むうちに皆さんの足がそろっていること、あたまの上下までそろっていること等、さすがランチの合宿と感激することが多々ありました。

午前4曲、午後4曲の指導をうけ、いろいろな動きを勉強しました。また講師をはじめ先輩のかたがたと踊ることも楽しみの一つでした。あらためてScottish Danceの楽しさと深さを感じました。その他、ときどき入るTea Timeは緊張をほぐしてくれる楽しいひとときでした。

3日目は、きのうの研修で少々痛くなった足をひきずりながら練習場へ。その日は姿勢からの注意がありました。『足を90°にひらき、足の内側をつけ、おなかを引っ込め、おしりを引き締め、肩をおとしてあたまの頂点が引っ張られるようにすっと立つ、そのまま沈みもどる、その姿のまま片足をまっすぐ前に出す』この動作があたま空はなれなくなりました。いぜんビデオで踊りを見たことがありますが、全員がそろった動きの美しさは素晴らしいものでした。基礎の正しさからすべてがはじまることを痛感しました。少しでも近づきたいと思うのです。

午前中4曲の指導をうけ、午後は今までの研修曲をInformal Dancingで踊ることになりました。何とか踊りおえて充実感いっぱいでした。

この3日間、役員の皆さんが一所懸命指導され、またいろいろなところで裏方となり、気を配ってくださったことにととても感謝しております。

合宿をとおしてさまざまな地域の人と接することができ、皆さんの熱心さに刺激をうけ、またこのつぎも参加したい、Scottish Country Danceを長く続けたいという気持ちをいだいて研修センターを後にしました。
(新潟SCDC)

<九月にまたお目にかかりたい>

ダイアン・バヨン

Dear Tom and members of the Tokyo Branch RSCDS, I had a wonderful weekend thanks to your efforts and everyone's friendliness. It was a marvelous experience for me and I learned a lot about Japanese hospitality. The workshop itself was very well organized and all of the teachers were excellent.....

みなさんお元気ですか？ すばらしいウィークエンドでしたし、みなさんの友情に感謝しています。わたしにとって得がたい経験で、日本のみなさんのホスピタリティを知ることができました。合宿はよく組織され、ティーチャーはみんなエキセレントでしたよ。九月の特別講習会にまた参加できれば、と願っています。これからも合宿があれば、かならず知らせてください。

とってもありがとう。わたしの気持ちをどうかみなさんに伝えてくださいね。

(ソウル在住)

会員住所・電話番号変更

武井 徹	359	所沢市西狭山ヶ丘 1-240-4	0429-47-5653
谷本 久実	816	春日市平田台 2-72-3	092-595-5812
南 浩	351	朝霞市朝志ヶ丘 4-10-13-706	048-487-5714
難波江 修身	162	新宿区市谷薬王寺町 43-1-201	03-3357-3154
鈴木 百代	350-03	埼玉県鳩山町松ヶ丘 1-3-7	0492-96-1766
小山 かおる	181	三鷹市下連雀 9-4-5-404	0422-44-3406

<ソサエティAGM・ECM報告>

クレメント篤子

11月6日のRSCDS第64回年次総会(AGH)、および11月20日の執行評議委員会(ECM)に東京ブランチ代表として出席されたクレメント篤子さんから、長文のレポートをいただきました。東京ブランチ会員に興味深いものをピックアップします。

1. 第64回年次総会

エディンバラのAssembly Roomsで、土曜日朝のオープン・フォーラム(意見交換)からはじまった。

○エディンバラ・ミリタリ・タトゥのダンスは、SCDの伝統を紹介するにはあまりに不適切である。ソサエティとしてどうにかならないか。

・ミリタリ・タトゥのプロデューサーは観客を楽しませること以外に興味はなく、出演したわれわれは言うがままに動かなければならなかった。不満の手紙を出したが、皆さんも観客側から同じように手紙を出してほしい。

・出演をボイコットするか、内側から改善していくかずいぶん悩んだ。ボイコットしても参加希望者はあとを絶たず、もっと技量の低い人が出演することになり、SCDの向上につながらない。これからもプロデューサーに改善を申し入れて行く。

○初心者用のダンス教本がほしい。

・37冊のブックから、そのクラスに適した踊りを選ぶのが指導者の役割である。

・踊りを始めたばかりの人にとって、教本があると便利。

・初心者がよりたやすく踊りに親しめるように、ソサエティはもっと努力してほしい。

このほかにも熱のこもった討議が行なわれ、オープン・フォーラムは時間切れとなった。

ついで午後、年次総会にうつった。第63回AGM議事録の承認、正副チェアマンおよび執行委員6人の選出が行なわれ、

Chairman : ミス・ウィルマ・ミラー

Vice-Chairman : ミスタ・ジョージ・ローソンが選ばれた。

年次報告、会計報告が承認され、本部および各ブランチからの規約改正提案の討議にうつった。

○ロンドン・ブランチから「各専門委員会の開催にあたり、招集は少なくとも14日前に書面で行なう……14日前だと安い切符が購入できる」の提案。

・委員会開催日程は事前に公表されており、この提案を受けいれると緊急の委員会開催が困難になる、などの意見がだされ、否決された。

○モントリオール・ブランチ「新会員にはソサエティ規約を無料配布する。その後の改正規約は有料とする」提案は、提案者不在のためとり下げられた。

○スターリング州ブランチの「ソサエティは毎年ブックを発行するか、休止年には年会費を下げる」提案。

- ・毎年発行は、調査出版委員会に過大な負担をかけることになる。
- ・ソサエティの踊りとしては不適合の踊りが載せられるおそれがある。
- ・経費がふえ、会費値上げにつながる。
- ・年会費はソサエティに貢献することであり、ブックはそこごく一部にすぎない。
- ・本部にしてもブランチにしても、変動会費は事務処理上、混乱のもとになる。

などの反対意見が多く、否決された。

功労者表彰にうつり、

- ミセス・ジル・アカレー（ヨハネスブルク・ブランチ）
- ミス・マーガレット・ブランダー（カーライル&ボーダー・ブランチ）
- ミスタ・ビル・クレメント（ダンフリーズ・ブランチ）
- ミセス・アリス・クーパー（ダンファームリン・ブランチ）
- ミス・アイリーン・フィドラー（ニューカーズル・ブランチ）
- ミス・レスリー・マーティン（アバディーン・ブランチ）の6人が表彰された。

来年度AGMは11月5日、パースで行なうことを確認し、今回のAGMでホストとなったエディンバラ・ブランチに感謝のことばが述べられて閉会した。

2. 執行評議委員会

○スコットランドの慈善事業団体法改正で小委員会設置

ソサエティは利潤追求団体でなく、慈善事業団体であることは間違いないが、法によれば海外ブランチもスコットランドの慈善団体に含まれる。そうすると、

- ・本部と全ブランチの会計決算は、同日に行なわれなければならない。
- ・会計報告書に執行評議委員全員（いま100人以上）の署名が必要。
- ・被信託人とは執行評議委員全員となる。評議委員を辞めても3年間は法的責任がとれない、極端な例でいうと、本部が全焼した場合、執行評議委員全員に建物再建の責務が生じる。基本規約改正につながるため、小委員会を設置したものである。

○近い将来、会費値上げ

財務委員長から、ここ2年間はともかく、会費値上げの必要性にせまられているとの説明があった。94年から検討がはじまる。

○チューター・コース説明とイグザミナー養成

チューター・コースはトレーニング・ティーチャー養成のためで、その数を増やすのではなく、質の向上をはかるためである。

イグザミナー（試験官）の資質、試験について、ミス・ミリガンは具体的な書面

を残さなかったので、現在の18名のイグザミネーから意見を提出してもらい、まとめている。いまのところ18名でなんら不都合はないが、だからといって増員しないというわけではない。イグザミネーの資質がどうあるべきか、まとまるのをまって新しい人を指名していく。

○カード決済により手数料増大

前年よりも銀行手数料が倍になっているとの指摘があり、これはクレジット・カード導入によるものとの説明があった。海外からの小額注文の場合、送金手数料が高額なため、改善策として試行しているとの回答。

注：この送金方法は利便・安価・迅速・確実であり、手数料こちら持ちでも継続してほしいと、本部に書面要請しました (Tom)。

ストラススベイ・セールについて、繁雑な手間をかけるだけの売り上げがあるのか？が問われ、本部回答は「見直しの時期にきているかもしれない」であった。

○ミリタリ・タトゥで小委員会設置

ソサエティとして対応を考えるため、正副チェアマン、ビル・クレメントなどからなる6人の小委員会が設置された。

本部短信

○調査出版委員会(10/23) Book 17および18のレコーディングについて、アリスティア・ウッドとデビッド・カニンガムのバンドに費用見積りを依頼した。Book 16の録音音楽とおなじように、LPでは全曲収録が不可能なため、つぎの曲をカットする。カセット・テープでは全曲が収録される。

Book 17: Countess of Crawford Reel (40S)

Miss Heyden (40S)

Bonnie Kate of Aberdeen (40S)

Book 18: Prince of Wales (40S)

2. マニュアル

a) Petronella Turnの記述で、最適の用語法を議論し、了承した。Petronella Turnはマニュアルに9.1ページとして追加される。

b) Book 37のSerpentine (The Queen City Salute)は、当面マニュアルには記述しないことで一致した。

3. 見直し版"Five Traditional Dances for 1965"のゲラ刷りを検討し、校正した。また、Book 10と26の見直し版もゲラ刷りにまわすよう依頼した。(Tom)

新ダンスブック・音楽テープ紹介

つぎのダンスブックとテープ、入荷済みでご注文をお待ちしております。小部数のため、1グループ1冊程度とし、売切れのさいはご容赦ください。

ご注文方法：郵便振替で『〇〇〇ブック〇冊希望』と書いて

振替口座番号 東京7-160278

加入者名 鳥山 豊喜 (ブランチとは別口座です)

までお申し込みください。いずれも送料込みです。

○ダンスブック

1. "The Alexander Dances Book 9" devised by Mrs Jean Attwood.

ジーン・アトウッドのダンスブックの9冊目である。モダンな感覚あふれる踊りで、Advanced Class以上のダンサーならだれでも楽しめる、というのがアトウッド女史の作品。"Here's tae Us!"(32R 3C)ほか全10ダンス。

[注文略号：アリグザンダー・ブック。¥300]

2. "The Capercaillie Book" devised by Mr Barry Priddey.

けれんのあるダンスを得意とするバリー・プリディの最新ブック。このダンスブックも猿之助歌舞伎に似た、ひとを驚かせるようなムーブメントがあり、6-Couples, 7-Couplesの踊りがある。RSCDS の伝統から外れるという感じがなきにしもあらずで、Very Advanced Class 以上でない途中でセットがこわれるダンスばかりである。挑戦してみるのもおもしろいが、説明文を理解するのにひと苦勞する。"The Capercaillie"(32J 4C)ほか全11ダンス。

[注文略号：ケイパーケイリ・ブック。¥300]

3. "The Bankhead Book Part 3" devised by Mr John Drewry.

ジョン・ドゥルーリの92-93年の踊りをあつめ、Part 3が出た。ドゥルーリの踊りならば安心して楽しめるが、いかんせん作り過ぎで、このブックも23曲ある。グループ内で手分けして指導すべきか。私事で恐れ入るが、このなかの"Caldercruix" はJames Kutzner の結婚を記念してつくられている。そのJames は1992 St Andrews Teachers Exam 時のクラスメートであった。"Auchindoon Castle" (160R 12-dancers SQ)ほか。

[注文略号：バンクヘッド・ブック。¥700]

4. "RSCDS Book No.17 CORONATION BOOK" Up-dates Re-prints.

新旧の改正箇所を探し出しすことじたい徒勞である、とはビル・クレメントさんの言葉である(ブランチレター No.21 p.5)。しかしながら、多くの会員が、RSCDS ブリテンその他の情報を精査し、資料の要不要をみずから判断する慣習をもっていただきたいと考え、Book No.17の新版はこういように変わっている、とあえて述べさせていただく。

1953年は女王の戴冠式とニュージーランド人ヒラリー卿のエベレスト登頂の年であった。Book 17 はこの年の発行で、このほど40年ぶりに見直し版が出た。取

録されているダンスは1700年代中期のもの、日本でいえば大岡忠光、平賀源内、田沼意次、杉田玄白という時代である。それはさておき、まず『このダンスブックはsoftnessとrelaxationをテーマにしている。音楽を早くしてはならない、云々』の文章がなくなっている。おもな改正箇所は記述の正確性向上と近年の用語・表記法統一である。表記法の統一はご承知のかたも多いが、あらためてここで明らかにしておきたい。

旧	新
pas de basque step	pas de basque
first couple second man third woman	1st couple 2nd man 3rd woman
move up bars 3-4	step up on bars 3-4
wrong side	opposite side
lead up	lead up or dance upに分化
one and a half times	one-and-a-half times
right and left	rights and lefts
back to back	dance back to back
to top	to the top

旧版では左がトップとなっていた図は、近年のブックと同様、指導するほうからみた図、つまり下がトップとなっている。また、1st coupleがprogressionして2-1-3の順序にあるとき、旧版では位置におかまいなく、いつもFirst, second and third couplesの記述であった。見直し版ではトップからの順序にあわせ2nd, 1st and 3rd couplesとなっている。

旧	新
First, second and third couples dance six hands round and back again.	2nd, 1st and 3rd couples dance six hands round and back.

踊りかたでおおきな変更はないが、ははあ、というところもある。くわしく述べるのは紙面の制限もあり、かつ各グループのリーダーの、ただでさえ貧弱な好奇心、探求心をさらに損なうことにつながる。変更(というより正確性向上)箇所を挙げるにとどめる。

- No.1 -A Trip to Aberdeen. bars 3-4 and bars 7-8.
(also described in "The Manual".)
- No.7 -Lucy Campbell bars 15-16.
- No.9 -Bob Sanders. bars 33-40.
- No.12 -Donald Bane. bars 31-32.

[注文略号：ブック17。¥630]

○音楽テープ

1. "Step in Time" played by Bobby Crowe and his Band.

Side 1: Dashing White Sergeant, Eightsome Reel, Foursome Reel, Monymusk, Mairi's Wedding.

Side 2: Reel of the 51st Division, Duke of Perth, Postie's Jig/Strip the Willow, Duke and Duchess of Edinburgh, Hamilton House, Sportsman's Charity Reel. 演奏はすべて Full Length.

1991年の録音で新譜ではない。好みはさまざまであるが、このテープ、RSCDSのBook 2 Musicとならんで Bobby Crowe Band の傑作といえる演奏である。ブランチャターNo.22 のビル・クレメントさんレポートで、バンドが独自でレコードを出すとき、選曲は自由、手慣れたスタイルで演奏する、とあったが、この演奏はまさにそのとおり。自家薬ろう中の曲を自由闊達に演奏し、のりにのっている。リズム隊のしっかりしたサポートのもとに、アコーディオン、フィドルが縦横に活躍し、当代一流の名に恥じない名演である。"Eightsome Reel"は同じバンドがCD盤"Shores of Loch Alvie"にも収録している。どちらがよいかは、聞く人の好みであろう。"Monymusk"なんぞは、このテープでないと踊る気がしないくらいである。歯切れはいいし、このテープと最新録音のBook 16 Music とをくらべると、Book 16 はどこか押さえつけられた不承不承の演奏の気味がしないでもない。不満をいえば、純Strathspeyが前記"Monymusk"1曲しかないこと、"Sportsman's Charity Reel"が他の曲とことなり、ぼんやりした演奏・録音となっていることである。"Sportsman's……" は別録音であろう。

ほとんどのグループにとって、重複するポピュラーな曲ばかりである。だが、このダンスに最適な演奏は、と常に探し求めている音楽好きなリーダーには、ぜひ一聴をおすすめするテープである。

評点 演奏★★★★☆ 録音★★★★☆ (Tom)

[注文略号：ステップインタイム。¥2,100]

海外ブランチャからウィークエンド・スクール案内

カナダ、アメリカ、スコットランドからウィークエンド・スクール案内がとどいています。参加ご希望のかたは事務局までご連絡を。申込書をお送りいたします。

主催	TAC (カナダ指導者連盟)	ボストン・ ブランチャ	イースト・スターリング 州 ブランチャ
催し名	サマースクール	イングリッシュ・スコティッシュ セッション	ウィークエンド ボール
期間	8/14-8/21, 試験 クラスは8/7-8/21	7/8-7/11, または 7/11-7/16	1/20-1/22 (1995年)

事務局だより

○クレメント篤子さんから、フィドラーのロン・ゴネラ Ron Gonnella が 2 月はじめに亡くなり、ボビー・クロウも二度目の途中で演奏活動が困難、とのニュースを得ました。名プレイヤーの最新演奏をもっと聞きたかったのにじつに残念です。

○例年なら 12 月 10 日前後に到着するはずの RSCDS プリティン、今回は遅れに遅れて 12 月 23 日、やっととどきました（本部発送は 10 月 28 日）。いっばう、先号ランチレター No. 24 と諸申込用紙は 12 月初めには刷りあがっており、あわせて昨年内に発送できて、ひと安心しました。レター No. 24 奥付の日付と、みなさんが受け取られた日とのくいちがいはこのような事情です。

○ランチショップは十数人のかたからご注文をいただきました。気付いた点を三つほど。

- 1) ビデオの価格に 2 種類あります。PAL のほうが安いのですが、PAL 方式（欧州）のビデオはそのままでは日本の VTR では映りません。NTSC 方式（アメリカ、日本むけ）のビデオをお求めください。
- 2) LP、カセットのご注文のさい、プリティン・リスト右端のカタログ番号でご記入いただくとたいへん好都合です。"Music for Book 14 and 15 Dances" のカセットは 2 種類あります。
- 3) プリティン 67 ページに、最新版になおしてリプリント、とあるにもかかわらず、今回 "Book 17" は注文皆無でした。

○さて、ここでクイズです。14 ページの新旧表記法比較のなかに、"Book 17" の踊りにはない用語が入っています。それは何でしょう？。答えをはがきを書いて事務局あてお送りください。正解者 1 名にオムニバス盤スコッティッシュ CD、2 名のかたに "Book 17" をお送りします（正解多数のときは抽選）。

締切り：4 月 30 日（消印有効）

RSCDS 東京ランチレター 1994.3.25 新 RSCDS 東京ランチ事務局 セクレタリ 島山豊喜 045-433-4623 222 横浜市港北区篠原北 1-28-25
--